



2学期スタート 元気に登校！

8月19日、2学期がスタートしました。大きな病気や事件に巻き込まれるようなこともなく始業することができました。保護者や地域の皆様が様々なご配慮をいただいたお陰と思っております。感謝申し上げます。始業式で体育館に入ってきた時には、「おはようございます」とあいさつをしながら入ってきました。また、静かに時間前に体育館に集合する姿に、子ども達の成長と2学期にかける思いを感じ大変うれしく思いました。



始業式では、「勉強」について話をしました。「勉強は人生の役に立つ」ことを考えました。はじめに勉強があまり好きではないか、勉強は好きかを尋ねました。結果は、6対4ぐらいでしょうか。勉強があまり好きではない子どもの方が多かったです。

さて、ここからみんなで考えました。まず勉強と言えば、授業です。授業ではどんな学びがあるかを尋ねたところ、漢字・カタカナ・計算・理科などの答えが返ってきました。授業を通した学びではどんな学びがあるか尋ねると、「考える力」という答えが返ってきました。まさにその通りです。その他にも、「一生けん命になること」「友達と協力すること」などを学び、知識

として覚えることが増えるということを確認しました。次に、知識として覚えるだけでいいのだろうかと考えました。勉強はすぐわからなかったり、すぐできなかったりすることがあります。子ども達はそんなときも、とにかくしようと頑張ります。実は、この「とにかくしようとすること」がとても大切で、「根気強さ」「考える力」「ものごとをつなげる力」につながっていることを伝えました。この力こそがこれから求められる力です。もっている知識を使い、新たなものを生み出す力が必要です。AIや

6年生執行部の作文より

皆さん、夏休みは、充実した日々を過ごせましたか？

2学期は、陸上記録会、水泳記録会、学習成果発表会、平館小学校150周年記念式典、校内マラソン大会など皆さんが活躍する場が沢山あります。2学期は、1学期の自分をどうやったら追い越せるか考えながら過ごして欲しいと思います。

また、この学校のスローガンである、「手を使い助け合うたいらっこ」を日々意識しながら、それを行動に移せるようにみんなで頑張っていきましょう。暑い日が続きますが、みんなでいろんなことにチャレンジして乗り越えていきましょう。そして一日一日を大切に、笑顔で生活していきましょう。



様々な機械が生活をよりよくしている今こそ、人間らしい力として身に付けてほしい力です。最後に言われたことをする人になりたいか、あるいは「なりたい自分」に向かって自分なりに考えてやってみる人になりたいか、どちらを選びますかと子ども達に問いかけました。「なりたい自分」に近づいていくそんな2学期にしてくれることを期待しています。

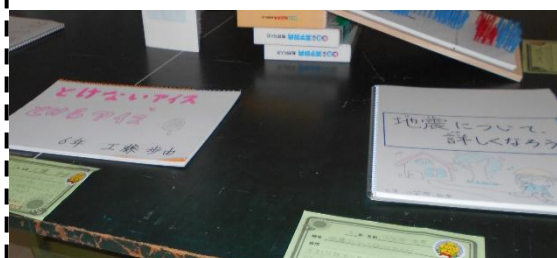
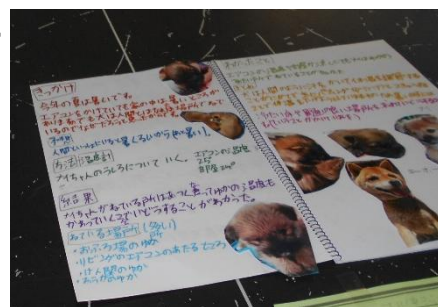
夏休み作品展

考えを形にして伝える

夏休みの課題として、子ども達一人ひとりが作品を手掛けました。保護者の皆様には、お子さんの思いを形にすべく支え導いてくださったことに感謝しております。作品は工作や研究、調理など多岐に及んでいます。興味関心を追究したもの、時流に沿ったもの、これまでの各教科の学習を発展させたものとバラエティーに富んでいました。子ども達にとって、「自分の思いをもつ」

「完成までの道筋を考える」「取り組んだことを伝える」ことは、大切な力となります。

思いを形としてあらわすことばかりでなく、考えたことを言葉で表すことも大切な力です。各教科の学習でも、自分の考えをもち、言葉にして伝えることを意識的に行っています。子ども達一人ひとりにとって、相手に考えたことを伝える力をつけることはとても大切です。今後も保護者の皆様には、子ども達が悩んだときや困ったときに知恵を貸していただき、優しく見守りながら思いを聞いていただければ幸いです。



【作品展の様子】

ありがとうございます！

150周年事業

8月21日（木）150周年事業の一環として、ドローンによる記念撮影、バルーンリリースを行いました。この写真は、記念クリアファイルとなります。

バルーンリリースは、地域からの子ども達へのプレゼントとして実施されました。子ども達にとって思い出に残るように！という願いで実施頂いたイベントです。改めて地域の本校に対する思いの強さと、未来を担う子ども達への期待の大きさを感じたところです。バルーンをリリースした瞬間、子ども達から歓声が上がリ笑顔が弾けました。最後に、児童会長からお世話いただいた方々への感謝の言葉がありました。それは、150周年という記念の年に、思い出に残ることをしていただいととても嬉しいこと、自分たち6年生にとっては、最後の小学校生活でとてもいい思い出になったことなどでした。「誰かのために手を使うこと」を実践している子ども達が、今後も感謝の気持ちを表してくれることを期待しています。



【リリースの様子】

ある日の出来事から



☆ ある朝のことです。6年生の子どもが話しかけてくれました。「昨日帰ってから3kmぐらい走りました。今日も帰ってから走ろうと思ったけど、雨だからどうしよう。傘をさして走ればいいですね。」と話を続けました。「傘をさして走るの？」と尋ねると、迷うことなく「はい！」と返事が返ってきました。1学期から、陸上大会やマラソン大会を目指して、練習を始めていた子どもです。「なりたい自分」を目指す姿さすがです！